

出資の持分に質権を設定することについての承諾書

租税特別措置法第 70 条の 7 の 2
租税特別措置法第 70 条の 7 の 4 の規定による非上場株式等についての相続税の納税猶予の適用を受けるため、同条第 1 項の規定により、下記のとおり、私が所有する出資の持分を非上場株式等に係る納税猶予分の相続税額の担保として提供し、当該出資の持分に対して_____税務署長の質権が設定されることを承諾します。

記

1 質権の目的とする出資の持分

(会社名) _____

(会社の所在地) _____

(出資の持分の名義) _____ 名義 (口数又は金額) _____ 口又は円

※その他出資の持分を特定する情報があれば記載してください。 _____

2 質権により担保される債権額

平成__年__月__日付の相続開始（被相続人_____）に係る相続税額のうち、非上場株式等についての納税猶予分の相続税額_____円

（内訳：相続税額_____円及び利子税額_____円）

3 質権者

_____税務署長

平成 年 月 日

質権設定者

住所 _____

氏名 _____ 印

出資の持分に質権を設定することについての承諾書

租税特別措置法第 70 条の 7 の規定による非上場株式等についての贈与税の納税猶予の適用を受けるため、同条第 1 項の規定により、下記のとおり、私が所有する出資の持分を非上場株式等に係る納税猶予分の贈与税額の担保として提供し、当該出資の持分に対して____税務署長の質権が設定されることを承諾します。

記

1 質権の目的とする出資の持分

____(会社名)_____

____(会社の所在地)_____

____(出資の持分の名義)_____名義_____(口数又は金額)_____口又は円

※その他出資の持分を特定する情報があれば記載してください。_____

2 質権により担保される債権額

平成__年__月__日付の贈与（贈与者_____）に係る平成__年分贈与税額のうち、
非上場株式等についての納税猶予分の贈与税額_____円
（内訳：贈与税額_____円及び利子税額_____円）

3 質権者

_____税務署長_____

平成__年__月__日

質権設定者

_____住所_____

_____氏名_____⑨

「出資の持分に質権を設定することについての承諾書」

「出資の持分に質権を設定することについての承諾書」は、非上場株式等についての相続税・贈与税の納税猶予の担保として持分会社の持分を提供する場合に、租税特別措置法施行規則第23条の9第1項第1号又は第23条の10第3項第1号に規定される「納税者が出資の持分に質権の設定をすることについて承諾したことを証する書類」として納税者が作成し、税務署長等に提出するものです。

(注) 特例非上場株式等である持分の全部を担保提供する場合に限ります。

【記載要領】

1 「質権の目的とする出資の持分」欄

担保として提供する持分に係る法人名、所在、名義、口数等を、担保提供書の物件の表示欄に準じて記載してください。

2 「質権により担保される債権額」欄

担保提供書の納税額欄に準じて記載してください。

3 「質権者」欄

納税猶予に係る担保の提供先（質権者）である所轄税務署長名を記載してください。

4 「年月日」欄

この承諾書を税務署長等に提出する年月日を記載してください。

5 「質権設定者」欄

納税者（質権設定者）が必ず自署した上で、押印してください。

(注) 1 この承諾書には上記5の納税者の押印に係る印鑑証明書を添付してください。

2 「納税者作成用（相続税用）」を作成する場合には、適用を受けようとする納税猶予に応じて、様式中の不要文字を抹消してください。